

—編集後記—

会員諸氏の手元にある本号（第123号）は、現編集委員会が皆様にお送りする最終号である。一昨年春の新体制発足から、何とかここまで辿り着くことができた。

今般の編集委員会では、和文誌としての「土壌の物理性」の価値を高めるために、「震災復興特集」や「広域評価特集」のような企画モノで攻め、学会の守備範囲を少し広げることを狙ってみた（編集委員長の独断だったかもしれないが）。成功裏に終わったかどうかは、読者のご判断にお任せするが、今後の編集業務に反映させるため、皆様からご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いである。

編集委員長を拝命したこの2年間で感じたことは、編集作業はコミュニケーション力を鍛えてくれるということだ。投稿者は読者に自分の研究の面白さや価値を切々と語りかけようとしている。そのメッセージをより強固

に鮮明にするために閲読の過程があり、その閲読を効果的・効率的に進めるためのお手伝い（投稿者と閲読者との仲立ち）が編集委員会の役割だと思う。そこには、投稿者、閲読者、編集委員の間で互いに分かり合おうとする姿勢が大切であり、この姿勢を共有するには互いのコミュニケーションが欠かせない。研究成果の社会還元が求められ、多様な機関の「連携」の必要性が唱えられる昨今、コミュニケーション力の重要性は増すばかりである。貴重な経験をさせていただいた。

末筆になるが、この2年間、土壌の物理性に投稿してくださった方々、丁寧に閲読をしてくださった方々、そして様々な形で編集委員会を支えてくださった関係者の皆様に厚くお礼を申し上げる。引き続き、土壌物理学会、そして会誌「土壌の物理性」にご注目いただきたい。

中辻敏朗（編集委員長）

土壌物理学会

事務局構成	会 長	波多野 隆介	(北海道大学)
	副 会 長	志賀 弘行	((地独)北海道立総合研究機構)
	庶務幹事	柏木 淳一	(北海道大学)
	会計幹事	倉持 寛太	(北海道大学)
	編集幹事	岩田 幸良	((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
編集委員会	会計監査	井上 京	(北海道大学)
	委 員 長	中村 和正	((独)土木研究所)
		中辻 敏朗	((地独)北海道立総合研究機構)
	委 員	飯山 一平	(宇都宮大学)
		木村園子	(東京農工大学)
		古賀 伸久	((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
		竹内 晴信	((地独)北海道立総合研究機構)
		永田 修	((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
		丹羽 勝久	((株)ズコーシャ)
		花山 奨	(山形大学)
		早川 敦	(秋田県立大学)
		笛木 伸彦	((地独)北海道立総合研究機構)
		宮本 輝仁	((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
	森 昭憲	((独)農業・食品産業技術総合研究機構)	
	山本 忠男	(北海道大学)	
	渡辺 晋生	(三重大学)	